

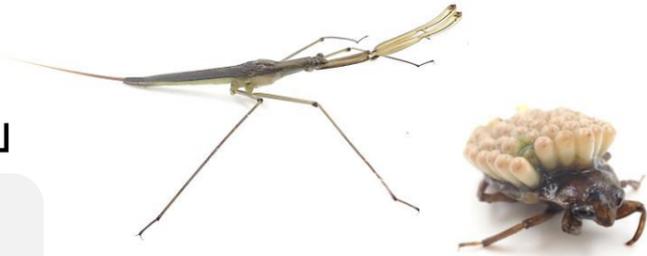
企画展示のご紹介

初夏の企画展「湿地の昆虫」

同時開催「ヒョウモンモドキ成虫展示」

- 期間：6月8日（土）～6月23日（日）
- 会場：こんちゅう館 がくしゅう室
- 内容：水域と陸地の間の環境「湿地」に見られる昆虫たちを生体や標本などで紹介します。同時開催として、当館で域外保全事業を行っているヒョウモンモドキの成虫を公開します。

↓ため池などで見られるミズカマキリ



卵を背負ったオオコオイムシ↑



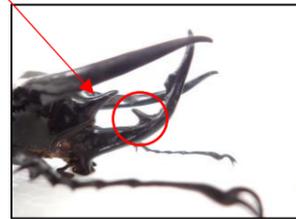
↑ヒョウモンモドキ

夏の企画展

「世界のカブト・クワガタ 2024」

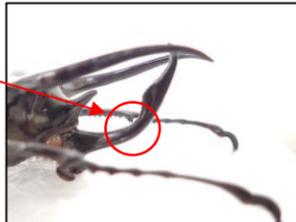


突起がある



コーカサスオオカブト

突起がない



アトラスオオカブト

コーカサスオオカブト *Chalcosoma chiron*

東南アジアで最大になるカブトムシの一種です。角を入れた体長は、最大で12cmにもなります。類似種のアトラスオオカブトとは、頭部の角に突起があることで見分けることができます。高い山に生息しているため、25℃ぐらいの涼しい部屋で飼育すると、より長生きします。

- 期間：7月13日（土）～8月25日（日）
- 会場：こんちゅう館 こんちゅうホール
- 内容：世界のカブトムシ・クワガタムシの生体や標本を展示し、生態について解説します。

こんちゅう館 News

み～んな主役!! 虫の館のスターたち ⑬

カブトムシ *Trypoxylus dichotomus*

コウチュウ目 コガネムシ科

成虫(オス)



終齢幼虫



さなぎ(オス)

ご存じ、夏を代表する昆虫にして昆虫界のスターです。主に森林に生息しており、あまり深い山の中よりも、人里に近い適度に人の手が加わった環境で多く見られます。その理由は、幼虫はたい肥や廃材などで発生し、成虫はコナラやクヌギといった、里山に生える樹木の樹液に好んで集まるためです。そのため本種は、古くから人々に親しまれてきました。

一方、世界のカブトムシのなかまと比べると、本種は異質な存在です。まず、幼虫の食性の広さ。世界のカブトムシのなかまは、一般に腐朽が進んだ朽木を食物に幼虫が育ちますが、本種は朽木・落ち葉・わら・牛糞・捨てられた畳などでも発生し、腐朽の具合や菌の種類にもあまりこだわりません。また、蛹になる際の蛹室のつくりも独特で、世界のカブトムシの多くの種は横向きの蛹室を作るのに対し、本種は縦向きに蛹室を作ります。さらに、頭の角が胸の角より長く、先端が複数に分岐する形状もカブトムシのなかまでは珍しい特徴です。私たちになじみ深いカブトムシですが、知れば知るほど、実は不思議な虫なのです。（逸見）

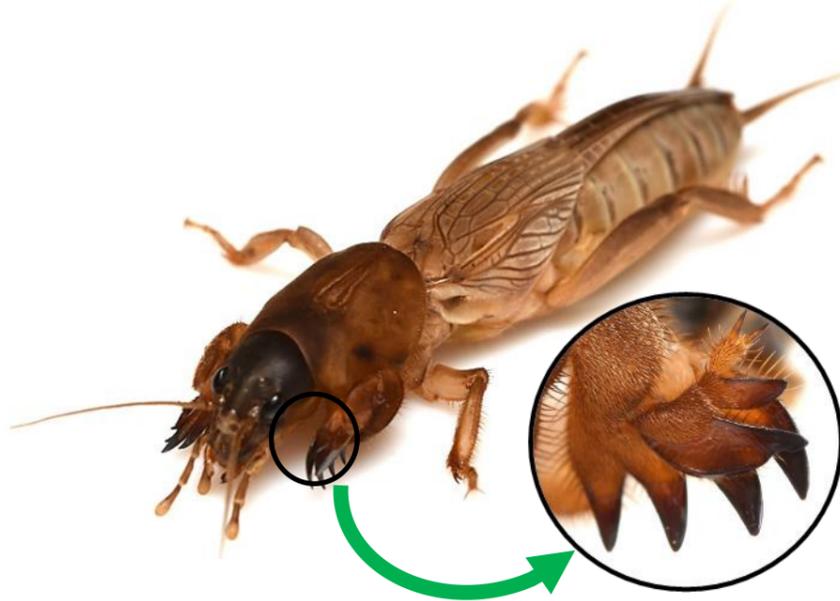


イベント情報は  
こちらから

# ケラ *Gryllotalpa orientalis*

バッタ目 ケラ科

こんちゅう館職員の“推し虫”を紹介するコーナー。今回の“推し虫”はケラです。(内田)



## どんな虫?

見た目がとても特徴的な昆虫です。  
有名な童謡「手のひらを太陽に」の歌詞にも登場するなど、日本人になじみ深い昆虫です。

特徴的な前脚を使って地中に潜ります。  
よく見ると毛がたくさんはえてますね。

## 押しポイント① 陸・水・空を制覇した!

最大の特徴は前脚! モグラのような前脚を使って地中に潜り生活します。しかしケラは潜るだけではありません。飛べる! 泳げる! まさに陸・水・空を制覇した、とても珍しい昆虫なのです。成虫には大きな翅があり、その翅を使って空を飛びます。また、体表面には多くの毛がはえており、その毛によって上手に地中に潜ったり水に浮かんだりできるようです。



潜る



泳ぐ

## 押しポイント② メスも鳴く!

昆虫は通常、鳴くのはオスだけですが、ケラはそうではありません。オスも鳴きますが、なんとメスも鳴きます! オスは「ポー」と野太い声で鳴きますが、メスは「ケラッ、ケラッ」とかわいらしく鳴きます。水田などの湿地で耳を澄ませばケラの鳴き声が聞こえるかもしれませんよ。

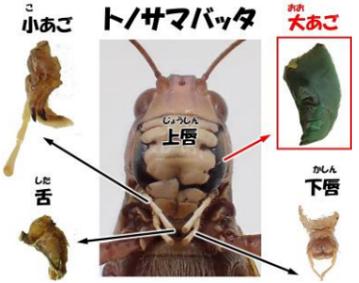


ケラ(メス)の翅

ギザギザになっている部分をこすり合わせて鳴きます

## こんちゅう館フォトギャラリー ~バッタの食べものと大あごの形~

バッタ(バッタ目バッタ亜目のグループ)の口は、主に上唇、下唇、大あご、小あごの4つのパーツからできています。このうち、エサとなるである草を切ったりすりつぶしたりするには、主に大あごが使われています。そのため、食べるものが違うバッタには、大あご(特に門歯や臼歯)の形に違いが見られます。(久我)



<p>トノサマバッタ <i>Locusta migratoria</i> バッタ目 バッタ科 主なエサ: イネ科の草</p>		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>大あご(右)</th> <th>大あご(左)</th> </tr> <tr> <th>正面</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">門歯: とがらない</td> </tr> <tr> <th>上</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">臼歯: 平たい</td> </tr> </table>		大あご(右)	大あご(左)	正面				門歯: とがらない		上				臼歯: 平たい	
	大あご(右)	大あご(左)															
正面																	
	門歯: とがらない																
上																	
	臼歯: 平たい																
<p>ショウリョウバッタ <i>Acrida cinerea</i> バッタ目 バッタ科 主なエサ: イネ科の草</p>		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>大あご(右)</th> <th>大あご(左)</th> </tr> <tr> <th>正面</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">門歯: とがらない</td> </tr> <tr> <th>上</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">臼歯: 平たい</td> </tr> </table>		大あご(右)	大あご(左)	正面				門歯: とがらない		上				臼歯: 平たい	
	大あご(右)	大あご(左)															
正面																	
	門歯: とがらない																
上																	
	臼歯: 平たい																
<p>オキナワモリバッタ <i>Traulia ornate okinawaensis</i> バッタ目 バッタ科 主なエサ: イネ科以外の草</p>		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>大あご(右)</th> <th>大あご(左)</th> </tr> <tr> <th>正面</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">門歯: とがる</td> </tr> <tr> <th>上</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">臼歯: ぎざぎざ</td> </tr> </table>		大あご(右)	大あご(左)	正面				門歯: とがる		上				臼歯: ぎざぎざ	
	大あご(右)	大あご(左)															
正面																	
	門歯: とがる																
上																	
	臼歯: ぎざぎざ																
<p>ツチイナゴ <i>Patanga japonica</i> バッタ目 バッタ科 主なエサ: イネ科の草・ イネ科以外の草</p>		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>大あご(右)</th> <th>大あご(左)</th> </tr> <tr> <th>正面</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">門歯: ややとがる</td> </tr> <tr> <th>上</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">臼歯: やや平たい</td> </tr> </table>		大あご(右)	大あご(左)	正面				門歯: ややとがる		上				臼歯: やや平たい	
	大あご(右)	大あご(左)															
正面																	
	門歯: ややとがる																
上																	
	臼歯: やや平たい																